

=共催=

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 放射線治療人材養成 8大学連携プログラム
群馬大学博士課程教育リーディングプログラム 重粒子線医工学グローバルリーダー養成プログラム

平成25年度 第4回

重粒子線医工連携セミナー

乳癌の重粒子線治療の開始にあたって Initial Experience of Carbon Ion Radiotherapy for Breast Cancer

講師 唐澤 久美子 先生

(放射線医学研究所 重粒子医科学センター病院
治療課 第3治療室長)

=概要=

乳癌は日本人女性に最も多い癌であり、より有効で負担が少ない治療法が開発されれば多くの患者が恩恵を受けることになる。しかし、重粒子線治療の研究は、従来の治療法で高い制御率が達成されていること、どのような症例が局所照射で根治可能であるかわからなかったことなどより今まで行われていなかった。最近、腫瘍の広がりが局所に局限していると考えられる「低リスク群」に適応を厳選すれば全乳房照射に代わり、乳房部分照射を行っても同等の治療成績が得られることがわかってきた。そこで、2011年より物理工学部と重粒子線の照射方法についての検討を行い、2012年には施行の準備が整い、2013年4月に乳癌原発巣に対する先進医療1例目の治療を行った。さらに、2013年5月17日には臨床第I/II相試験が承認され、本格的な研究が始まった。臨床試験の対象は、60歳以上のI期で腫瘍の広がりが局所に局限していると考えられる症例とし、第I相では、12 GyE×4回、13.2 GyE×4回、15 GyE×4回の3レベルでの照射を予定している。本セミナーでは放医研で行った治療法の検討内容と現在の照射法の実際を紹介する。

■日時：平成25年7月26日(金) 17:00～

■場所：群馬大学 重粒子線医学センター
カンファレンス室

=お問い合わせ先=

群馬大学 重粒子線医学研究センター 猪爪(E-mail: inoino@gunma-u.ac.jp)
〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3-39-22 TEL: 027-220-8378 FAX: 027-220-8379